

平成21年12月16日  
内閣総理大臣 鳩山由紀夫 殿  
民主党・会派所属国会議員 各位

## 「特例会見問題」について嚴重抗議します

このたびの天皇陛下と習近平副主席の会見設定における問題に関して、内閣及び民主党の対応に嚴重抗議します。そして、鳩山総理と小沢幹事長の辞任を強く求めます。

内閣がルールを破り無理に要求を押し通したことや、その後の鳩山総理や小沢幹事長の発言はあまりにも酷く、国民として到底容認出来るものではありません。彼らの見識を根底から疑います。

内閣及び民主党が、政治利用のために陛下と習氏を面会させたことは明らかであり、言い逃れの余地は全くありません。総理が「中国は大事な国だから」との発言をしましたが、これこそまさに政治利用。もしそのようなことがまかり通れば、「大事でない国はどこなのか？」との疑念を各国に持たれてしまいます。陛下との面会において、国の大小や優劣を区別しないようルールが設けられたのです。また、ルールがおかしいと言うのなら、それを破る前に議論し修正するべきで、後になってどうこう言うのは本末転倒であり、極めて愚劣な発想です。

さらに、小沢幹事長の発言にも大変な問題があります。小沢幹事長は独自の憲法解釈を持ち出し自説を展開しましたが、その解釈自体が間違っています。陛下が習氏と面会することは、国事行為ではありません。また、「陛下は必ずそうおっしゃると思う」という旨の発言も言語道断。これもまさに、陛下を政治利用したと宣言したようなもの。そのうち、「陛下も民主党を支持していると思う」などとのとまうのではないか…？そのような危惧さえ抱いてしまいます。

このように、鳩山総理や小沢幹事長、その他閣僚の判断や弁明は全て誤っており、宮内庁や自民党への責任転嫁を図るような発言まで出てきたことには驚愕の一言。民主党はどこまで腐った体質なのかと問い質したくなります。特に小沢幹事長の主張については、「政治主導」という名のもとに、憲法や陛下のお立場を利用し、都合よく悪事を正当化しようとするものであり、政治家としての資質を問う以前に人格を疑います。

一体、内閣と民主党はどうなっているのでしょうか？

内閣と民主党が極めて重大な問題を引き起こしたことについて、民主党議員は皆ガンマリを決め込んでいるように見受けられます。小沢幹事長の横暴に対し、党内から誰も批判の声を上げないのでは、民主党は「民主主義」のかけらもない、独裁的な体質に陥っていると断じざるをえません。このままでは国民が寄せる民主党への期待を大きく裏切ることとなり、救いようのない独裁政党とみなされ、信用は失墜することとなります。

最後にお願いです。

この件でどれほど国民が怒り、憂慮しているか、真剣に声を聴いてください。  
その上で、鳩山総理と小沢幹事長が誠意をもって国民に説明することを求めます。  
また、「政治利用」があったことを認め、天皇陛下と国民に謝罪することを求めます。  
そして、鳩山総理と小沢幹事長の辞任を強く求めます。

以上